

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語 I B	
科目基礎情報						
科目番号	0007		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年	1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	1. 『Landmark Fit English Communication I』 啓林館、2016年 2. 『COCET2600 理工系学生のための必修英単語2600』 成美堂、2012年					
担当教員	山本 長紀					
到達目標						
英文理解の基礎となる語彙力、文法の知識、英単語を正しく発音するための知識や正しく綴るための力の素地を養う。それらの能力を用い、短くはない英文を理解するとともに、平易な英文を1つ以上書くことができる。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 語彙力、文法的知識、英文読解	ある程度難しい語彙、英文を理解し、3ページほどの英文のほとんどの内容を理解することができる。		標準的な難易度の語彙、文法を理解し、3ページほどの英文の内容をある程度理解することができる。		授業で取り上げる語彙、文法を理解することができる、3ページほどの英文の内容をほとんど理解できない。	
評価項目2 音読	音、強勢、リズムなどをほとんど正しく発音でき、内容が問題なく伝達できる。		音、強勢、リズムなどをある程度正しく発音でき、多少の理解しにくいところはあるものの、内容伝達ができる。		発音が正しくなく、内容伝達ができない。	
評価項目3 英作文	授業で学習する語彙、文法に加え、自ら学んだ語彙、文法を用いて平易な英文を複数書くことができる。		授業で学習する語彙、文法を用いて平易な英文を1つ以上書くことができる。		授業で学習する語彙、文法を用いることができず、また英文を書くことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
準学士課程 3(2)						
教育方法等						
概要	中学校で学習した文法、英単語、熟語を復習し、授業に臨むことが求められる。教科書本文の内容を理解するため、指示された期間に該当範囲に予習を行うことが求められる。1年次の他の英語科目の学習と合わせて、英検3級に合格できる能力を身につけTOEICを受験するための英語力を養うことを目指す。正確な英語の読解力を養成するため、各 Lessonにつき、単語・熟語・文法事項等を総合的に学習していく。読解力養成のため、授業前の内容理解（予習）に基づく音読を重点的に行う。					
授業の進め方・方法	授業では、講義形式で英文を読解するだけに留まらず、ペアワーク、グループワークなどを取り入れ英文を理解する。そのため授業前の予習は必須となる。加えて、英単語の発音、綴り方をドリルを用いて行い、語彙力の育成を測る。授業で取り上げるテーマに即した英作文を、個人、ペア、グループで行う。定期的に語彙に関する小テストを実施する。					
注意点	授業への積極的な参加が求められる。それが見られない場合や授業に必要な物を忘れた場合は、授業に参加していないとみなし、評価を減らす事がある。また予習、提出物の遅れも同様である。一方、授業への積極的な参加態度、学生個人の積極的な学習意欲を評価する。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	第1時間目にガイダンスと前期の復習を行う。		
		2週	Lesson 7 Eco-tour on Yakushima	学習内容を理解することができる。		
		3週	Lesson 7 Eco-tour on Yakushima	学習内容を理解することができる。		
		4週	Lesson 7 Eco-tour on Yakushima	学習内容を理解することができる。		
		5週	Lesson 8 Mariko Nagai, Super Interpreter	学習内容を理解することができる。		
		6週	Lesson 8 Mariko Nagai, Super Interpreter	学習内容を理解することができる。		
		7週	Lesson 8 Mariko Nagai, Super Interpreter	学習内容を理解することができる。		
		8週	後期中間試験	本文を用いた口頭試験を行う。		
	4thQ	9週	Lesson 9 Space Elevator	学習内容を理解することができる。		
		10週	Lesson 9 Space Elevator	学習内容を理解することができる。		
		11週	Lesson 9 Space Elevator	学習内容を理解することができる。		
		12週	Lesson 10 Friendship over Time	学習内容を理解することができる。		
		13週	Lesson 10 Friendship over Time	学習内容を理解することができる。		
		14週	Lesson 10 Friendship over Time	学習内容を理解することができる。		
		15週	定期(学年末)試験			
		16週	答案返却・解答と解説			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2		

			英語運用能力の基礎固め	毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	

評価割合

	試験	提出物	小テスト	態度	合計
総合評価割合	50	20	20	10	100
基礎的能力	50	20	20	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0